

ダイビングに際しての注意事項

- ここでは、ダイビングに関する注意事項を全般、前、中、後に分けて記述します。
- それぞれの注意事項を守り、より安全なダイビングを心がけてください。

ダイビング全般

無減圧潜水時間に対して余裕を持ったダイビングを行なってください。
15m以上潜水し場合は、必ず3～6mでの安全停止を行なうようにしてください。また、減圧の指示が出た場合は、指示された停止時間よりも長く停止することをお勧めします。
その際、必ず空気の残量を確認してください。
本製品はタンクの残量などは管理していませんので、自分で残量管理をしてください。
本製品を使用する場合でも、安全のため他の機器（ダイビングコンピュータ、水深計、ダイバーズウォッチ等）を併用してください。
本製品は、パディー（ダイビングのパートナー）の変わりにはなりません。基本的なルールを守り、決して1人ではダイビングを行なわないでください。
ダイビング後、高度ランクが急激に変化することは、たいへん危険です。高度ランクが変わる移動は避けてください。

ダイビング前

時計が正常に作動しているか、バンド・ガラスに傷・ひび等がないか、バンドがケースに確実に固定されているかチェックしてください。
・電池寿命切れ予告マークが点灯していないか？

1

(例) 淡水 (比重 = 1.00 と仮定) での深度
深度表示 19.4m
実際の深度 = 19.4m × 1.03 / 1.00 = 20.0m

ダイビング後

ゴミ、砂、海水等を真水でよく洗い流してください。
時計を洗った後は、きれいに拭いてください。
塩抜き等で長時間水に浸けておくと、オートセンサーが作動するため電池を消耗しますのでご注意ください。
圧力センサー部に入ったゴミや砂等の異物は真水で洗い流してください。先の尖ったもの等で触れるたり、エアガンなどで高い圧力の風を吹き付けると故障の原因となりますので、絶対にしないでください。真水で洗い流せない場合は、販売店にご相談ください。
圧力センサー部に、ガソリンやアルコール等の薬品が触れると故障の原因となりますので、ご注意ください。
水面休止時間が10分未満では、各種の合わせ（時刻・カレンダー、FO₂、時差修正）はできません。
計測範囲外を感知した場合、表示全体が点滅します。この場合ダイビング終了後48時間はダイビングには使用できません。（ダイビング中の警告表示参照）

3

- 次のダイビングの計画を立てる際に便利です。
- ログデータを最大30本記録できます。
- 潜水に関するほとんどのデータが自動記録されています。
- 日付、潜水開始時刻と終了時刻、潜水時間、最大深度、酸素濃度、潜水終了時体内酸素量、潜水終了時体内酸素量、などです。

時計関係

時刻・カレンダー機能・・・時、分、秒と日付(月、日)曜日を表示します。
フルオートカレンダー・・・月末のカレンダー修正の必要がありません。
2000～2050年
デイリーアラーム機能・・・毎日希望の時刻にセットできるデイリーアラーム機能と、時報機能があります。サウンドデモンストレーションができます。
時差修正機能・・・海外など時差のある地域へ移動した場合、時刻の修正が簡単にできます。30分単位での修正ができるので、GMTとの時差が30分単位の地域の時刻への合わせができます。

5

各部の名称とはたらき



7

- 表示全体が点滅していないか？
 - 高度ランクが点滅していないか？
 - 体内酸素バーグラフが9個点灯していないか？
- これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用できません。
時計の温度と水温とに極端な差（直射日光下に放置された時計を水中に入れる場合など）がある場合、正確な水深計測はできません。
ダイビング前に時計を水に約5分程度浸してからご使用ください。
FO₂（酸素濃度）の設定が正しいか、確認してください。実際に使用するタンクの酸素濃度に設定してください。水中およびダイビングを開始してからではFO₂の設定はできませんので、必ずダイビングの前に確認および設定をしてください。

ダイビング中

岩など硬いものにぶつけないよう注意してください。
水中では表示している深度等に異常がないか、ご確認ください。
現在深度が、水深100m未満で「- - -」の表示あるいは「Err」表示だった場合、ただちにこの時計の使用を中止するか、他の機器を目安に安全な行動を心がけてください。
ダイブ表示では、ボタンCの時刻等の確認以外の表示の切り替えはできません。
水中では環境・携帯条件により各種警告音とデイリーアラーム音が聞こえにくい場合があります。
深度は海水（比重 = 1.03）を基準としています。淡水など比重が異なる水で使用すると深度表示に誤差が生じますが、無減圧潜水時間等の計算には支障ありません。

2

製品の特長

- セイコーマリンマスター-DH33は、マルチレベルダイビングに対応したアルゴリズムを搭載した本格的なダイブコンピュータ機能付きのデジタルダイバーズウォッチです。

ダイビング関係

アルゴリズムについて
・マルチレベルダイビングに対応したアルゴリズムを搭載しています。
・スイス型モデルの理論と研究に基づき、この分野では著名なMr. Randy Bohrerによって改良された演算方式を採用しています。
ダイビング機能（深度：1.5m～99.9m）
・水分感知のオートスイッチによりダイビング機能は自動的にスタートします。
・ダイビング中のデータはすべて自動計測できますので、ボタン操作は不要です。
・体内酸素量、体内酸素量が一目で分かるようバーグラフで表示します。
・常に現在高度（＝現在気圧）を自動計測するので、飛行機に搭乗した時や高所に移動した時にも、体内酸素量等の計算をし、ダイビング時それらのデータが反映されます。
NITROX（NX：ナイトロクス）機能【FO₂：22～50％設定可能】
・混合ガスの酸素濃度（FO₂）の設定ができます。
・通常とは異なる酸素濃度の混合ガスを利用したダイビング用の計算ができます。
ダイブプラン機能
・現在の体内酸素量、高度に応じ、無減圧潜水時間を自動計算します。

4

内部照明機能（パネライト）

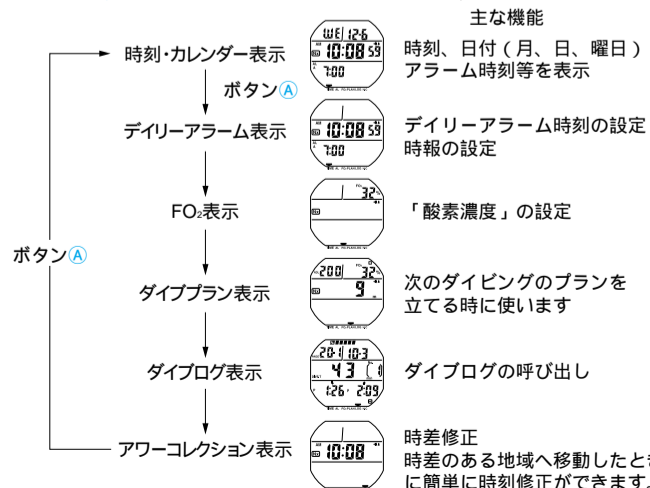
- ボタンDを押すと2～3秒間内部照明（パネライト）が点灯します。
- 電圧がかけると光りを放つ物質を利用した発光方式（＝EL）を採用しています。

サウンドデモンストレーション・・・アラーム音を試し聴きできる機能のことです。
パネライト点灯時に音が聞こえる場合がありますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。
パネライトに使用しているEL（エレクトロルミネッセンス）の発光体は、発光時間の経過とともに徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
（詳しくは「エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について」を参照）

6

表示の切り替えかた

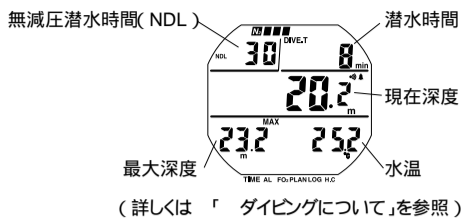
ボタンAを押すごとに次の順序で切り替わります。



上記の表示のうち「時刻・カレンダー表示」以外で、5～6分間ボタン操作がないと自動的に「時刻・カレンダー表示」に切り替わります。

8

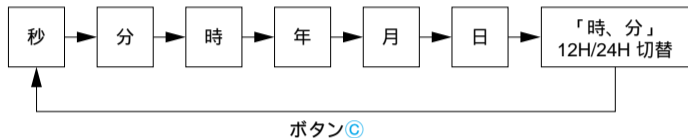
「ダイブプラン」「ダイブログ」以外で、ボタンDを押すと内部照明（パネライト）が点灯します。
ダイビングを行なうと、オートスイッチ（水分感知センサー）のはたらきで自動的に「ダイブ表示」になります。



9

ボタンCを押して、合わせたい箇所を点滅させます。
ボタンCを押すたびに点滅箇所が変わります。

ボタンC ボタンC ボタンC ボタンC ボタンC ボタンC



ボタンDを押して合わせます。ボタンDを1回押すごとに点滅している所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
「時と分」が同時に点滅している場合は、12時間制表示と24時間制表示の切り替えです。12時間制表示のときは「AM」(午前)マークまたは「PM」(午後)マークで午前/午後を表示します。24時間制表示のときは、マークはありません。
合わせ終わったら、ボタンBを押して時刻・カレンダー表示に戻してください。

秒合わせ・・・(秒)を点滅させ、時報に合わせてボタンDを押すと、00秒に合います。
(秒)が30～59秒のときは(分)が1分くり上がって00秒に合います。

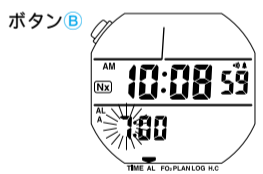
11

デイリーアラームの使いかた

- ・1日(24時間)に1回鳴る「デイリーアラーム機能」です。
- ・デイリーアラームがセットされると「時刻・カレンダー表示」にアラーム時刻が表示されます。
- ・アラーム音の試聴(サウンドデモンストレーション)ができます。
- ・時報の設定ができます。

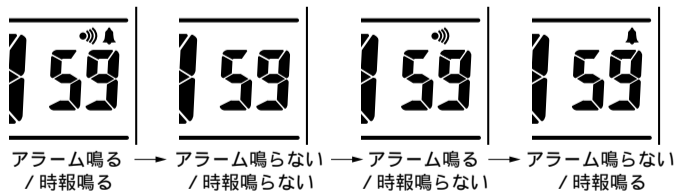
デイリーアラーム時刻の合わせかた

ボタンAを押して、デイリーアラーム表示にしてください。
ボタンBを押して、デイリーアラーム時刻合わせにしてください。



この状態で1～2分間操作をしないと自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

13



鳴っているアラームを止めるには
デイリーアラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタンA、B、C、Dのいずれかを押してください。
どの表示の時でも、この操作は可能です。
ただし、ダイビング中は、鳴鐘時間が3秒間になります。また、デイリーアラームマークが最大20秒間点滅します。

サウンドデモンストレーション(デイリーアラーム音の試し聴き)
デイリーアラーム音を試し聴きたい時は、デイリーアラーム表示、または時刻・カレンダー表示で、ボタンCとボタンDを同時に押してください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。
この操作をデイリーアラーム表示で行なった場合、ボタンCが先の押された場合、デイリーアラームと時報の「鳴る/鳴らない」の設定が変わる場合があるので、「デイリーアラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法」を参照して元の状態に戻してください。

15

時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンAを押して、時刻・カレンダー表示にしてください。



デイリーアラーム時刻は、設定されている場合のみ表示します。
ボタンBを押して、時刻・カレンダー合わせ状態にしてください。



ダイビング後10分間は「時刻・カレンダー合わせ」はできません。
この状態で1～2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示に戻ります。

10

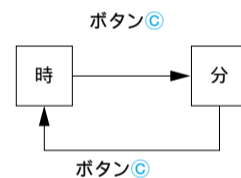
全点灯表示

時刻・カレンダー合わせで「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、ボタンA、B、C、Dのいずれか1つを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次にあらためて、上記の から合わせ直してください。



12

ボタンCを押すごとに点滅する箇所が変わります。



ボタンDを押して合わせます。
ボタンD: 1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
デイリーアラームが鳴らない設定になっていても、デイリーアラーム時刻を修正すると自動的にデイリーアラームマーク「☺」マークが点灯します。
時合わせのとき、午前・午後をよく確認してください。12時間制表示の場合、午前「A」、午後「P」マークが点灯します。
合わせ終わったらボタンBを押してデイリーアラーム表示に戻してください。

デイリーアラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法
デイリーアラーム表示でボタンCを押すごとに次の順序で設定が変わります。
デイリーアラームマーク「☺」、時報マーク「▲」が点灯/消灯します。

14

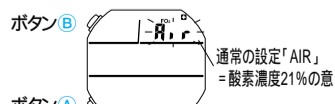
FO₂(エフオーツー)の設定について(酸素濃度設定)

この機能は、通常ダイビングに使用される空気タンクとは異なる酸素濃度の混合ガスを用いる潜水の際のみに使用するものです。それ以外ではこの設定を「Air」のままご使用ください。
誤って実際に使用するタンクの酸素濃度と異なる設定のまま使用することは、絶対にやめてください。「ナイトロクス潜水(NITROX)についての注意」を参照)

- ・通常は「Air」= 21%の設定ですが、ダイビングに使用するタンクの酸素濃度に合わせ、22%～50%の設定が可能です。
- ・22%～50%を設定した場合、NITROX(ナイトロクス)ダイビングとなり、「Nx」マークが点灯します。
- ・設定したFO₂に対応したNDL、体内窒素量等を計算します。

FO₂の設定方法

ボタンAを押して、FO₂表示にしてください。
ボタンBを押して、FO₂設定状態にしてください。

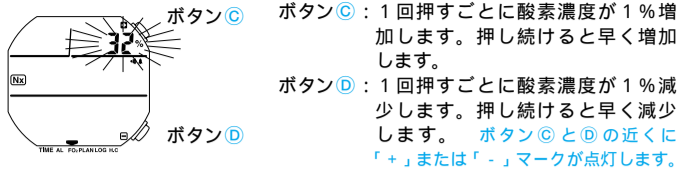


「酸素濃度」(例ではAir)が点滅します。

ダイビング後10分間はFO₂設定はできません。
この状態で1～2分間操作をしないと自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

16

ボタンCまたはDを押して合わせたい酸素濃度に合わせてください。



ボタンC : 1回押すごとに酸素濃度が1%増加します。押し続けると早く増加します。
 ボタンD : 1回押すごとに酸素濃度が1%減少します。押し続けると早く減少します。 ボタンCとDの近くに「+」または「-」マークが点灯します。

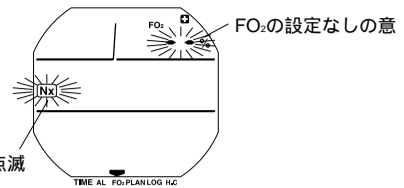
22% ~ 50%を選択した場合、「Nx」マークが点灯します。
 ナイトロクス潜水以外では「Air」を選んでください。
 合わせ終わったらボタンBを押してFO₂表示に戻してください。

「Nx」マークが点滅をしている場合

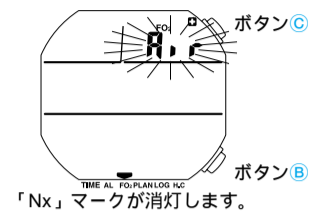


- この点滅は、以前FO₂(酸素濃度)に「Air」以外の「22% ~ 50%」の設定があったことを示しています。
- 安全のため、FO₂に「22% ~ 50%」が設定したまま、次の日以降「Nx」マークが点滅して、次のダイビングの前にFO₂の設定が必要であることを示します。

「Nx」マーク点滅の消しかた
 ボタンAを押して、FO₂表示にしてください。
 ボタンBを押して、FO₂設定状態にします。



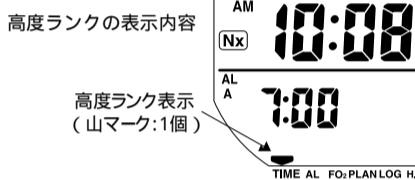
ボタンCを1回押すとして「Air」に替わります。
 必要に応じ、ボタンCまたはボタンDを押してFO₂の設定をしてください。



設定が終わったらボタンBを押してFO₂表示に戻してください。

高度ランクについて

- この時計は圧力センサーを利用し、高度(標高)を計測し、4段階で表示します。
- 体内窒素量の計算や次のダイビングのNDL等を、高度に従って計算を行います。
- 高度ランクが変わる移動があった場合は、その時点で体内窒素量の再計算を行いません。



高度ランク	高度ランク0	高度ランク1	高度ランク2	高度ランク3	高度ランクエラー
表示	(無し)	▲▲	▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲(点滅)
目安高度(標高)	~900m	600m ~1700m	1300m ~2500m	2200m ~6000m	6000m ~

上記の高度は目安でしかなく、高度ランクの表示から高度は読み取れませんので、ご注意ください。
 ダイビングをしない時でも高度ランクが変わる移動があると、体内窒素量のバークラフが表示されることがありますが、故障ではありません。

ダイブプラン機能の使いかた

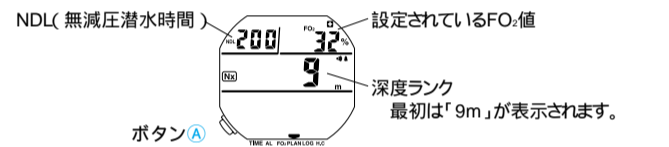
- ダイビングを行なう前にあらかじめダイビングの計画を立てる場合に使用します。
- 深度ランク(14種類)に対応したNDL(無減圧潜水時間)を分単位で表示します。
- 設定されているFO₂や高度ランクおよび水面休止中の体内窒素量に応じた計算ができます。

深度ランク
 9m, 12m, 15m, 18m, 21m, 24m, 27m, 30m, 33m, 36m, 39m, 42m, 45m, 48mの14ランクです。
 この中から、次のダイビング深度に応じたランクを選択します。

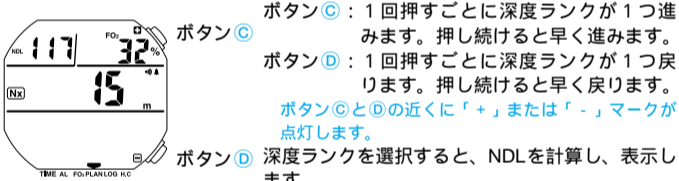
ダイブプランの使いかた

ダイビングで使用するタンクの酸素濃度を正しく知り、FO₂の設定および確認をしてからダイブプランをご使用ください。

ボタンAを押して、ダイブプラン表示にしてください。



ボタンCまたはボタンDを押して、これから予定するダイビングの深度に対応した深度ランクを選択してください。

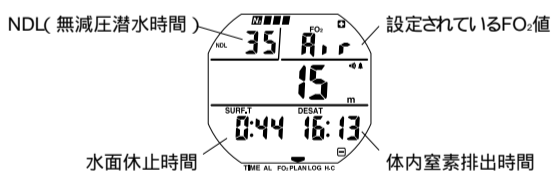


ボタンC : 1回押すごとに深度ランクが1つ進みます。押し続けると早く進みます。
 ボタンD : 1回押すごとに深度ランクが1つ戻ります。押し続けると早く戻ります。
 ボタンCとDの近くに「+」または「-」マークが点灯します。
 ボタンD 深度ランクを選択すると、NDLを計算し、表示します。

計算状態によって、NDLが表示されるまでに時間が掛かる場合がありますので、ご注意ください。

水面休止時間を表示中の場合

- 「水面休止時間(SURF.T)」および体内窒素排出中であれば、「体内窒素排出時間(DESAT)」が表示されます。



FO₂にAir以外を選択した場合

- FO₂の設定値によっては、ある深度ランク無減圧潜水時間の表示が「-」になります。
 これは、FO₂の設定値によって潜水できる最大深度を超えたことを示します。

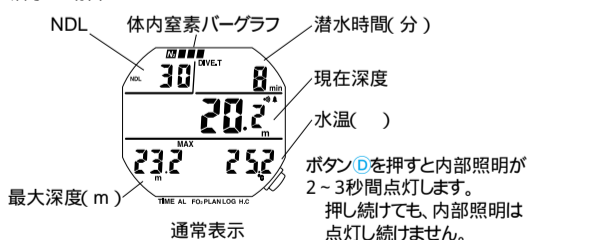
ダイブモードについて

- オートスイッチ(水分感知センサー)によって、「ダイブ表示」への切り替えは自動的に行なわれるので、事前に特定の表示に切り替える必要はありません。
- 1.5mから深度表示と潜水時間のカウントが始まります。
- ダイビング中は深度、水温、時間を自動計測し、必要な情報を表示または警告音でお知らせします。

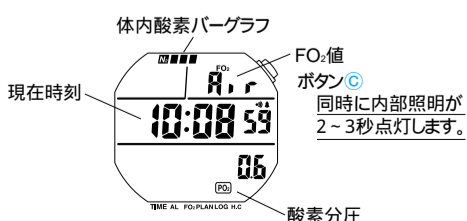
注意

ダイビングに際しては、前述の注意事項に従い「ダイビング前」の機能点検が必要です。
 また、ダイビング毎に使用するタンクの酸素濃度(FO₂)を設定および確認をしてください。水中ではFO₂の設定変更はできません。

ダイビング中の表示
 無減圧潜水の場合

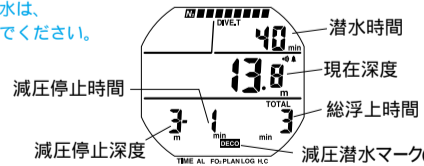


ダイブ表示でボタンCを押している間、「現在時刻」や「酸素分圧」等を表示します。



無減圧潜水時間が0分となる潜水(=減圧潜水)の場合

- 無減圧潜水時間(NDL)が「0分」となる潜水をした場合、体内窒素バークラフがすべて点灯し、減圧潜水状態になったことを示します。
 このような潜水は、絶対にしないでください。



総浮上時間(3分)とは、「現在深度から、減圧停止深度(3m)まで浮上し、減圧停止時間(1分)を含む「水面までの最短の浮上時間」のことです。
 減圧停止指示に従うと、再び「無減圧潜水」状態に戻ります。

減圧停止は指示深度より浅い深度で行なわないでください。減圧停止指示違反となり、減圧停止時間と総浮上時間が減算されません。
 一旦、減圧停止指示違反警告を受けた後でも、減圧停止指示の深度に戻り、減圧停止を再度行なうことができます。この警告を無視しそのまま浮上すると、48時間ダイビングに使用できなくなります。さらに表示は「減圧潜水状態」のままで「水面休止表示」と「ダイブログ表示」のみの表示切り替えしかできません。
 よって、海の状況によっては、1~2m深い深度で減圧停止を行なうことをお勧めします。その場合、表示される停止時間よりもやや長く停止することになります。

ダイビング中の警告表示とその内容

表示 (表示の様子)	警告名	説明
SLOW (点滅)	浮上速度警告	浮上速度が速すぎた場合、SLOWが5秒間点滅し、警告音が3秒間鳴鐘します。深度により、3段階の規格値を持っています。 0.0m ~ 5.9m : 8m / 分 6.0m ~ 17.9m : 12m / 分 18.0m ~ : 16m / 分 実際には6秒毎の浮上深度で警告を出します。
DECO (点滅)	減圧潜水警告 減圧停止指示違反警告	無減圧潜水時間を超えて潜水を行なった場合、減圧潜水状態となりDECOマークが点滅し警告音が3秒間鳴鐘します。 その際、表示される減圧停止深度より浅い深度に浮上してしまった場合は、減圧停止指示違反警告となり、「現在深度」「減圧深度」「減圧停止時間」とDECOマークが点滅し、警告音が3秒間鳴鐘します。 減圧停止深度が深になると、減圧停止時間の減算が始まります。

25

PO₂ (点滅)	PO ₂ 警告 (酸素分圧警告)	PO ₂ (酸素分圧)が1.5に達した場合警告音が3秒間鳴鐘します。ボタン④を押して表示を切り替えると体内酸素バーグラフが点滅しています。PO ₂ が1.6以上になると、「O ₂ 」マークが点滅し、警告音が3秒間鳴鐘します。ボタン④を押して表示を切り替えると体内酸素バーグラフがすべて点滅しています。
O₂ (点滅)	OLI警告 (体内酸素量警告)	体内酸素バーグラフが全部点灯した場合
「 - - 」 (全表示点滅)	計測範囲外警告	「 - - 」マークになった部分の計測が計測範囲外となった場合。 ・最大深度が99.9mを超えた場合 ・潜水時間が599分を超えた場合 ・減圧停止深度が15mを超えた場合 ・減圧停止時間が99分を超えた場合

各種の警告音鳴鐘中は水深計測は行ないません。

26

ダイビング後の表示について

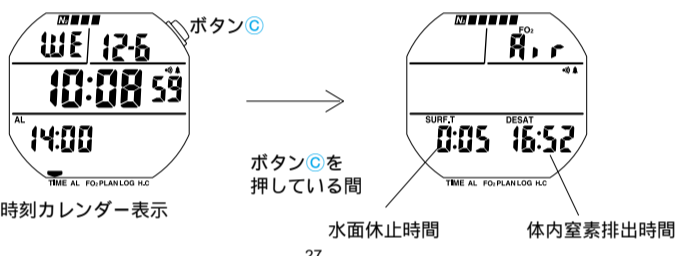
- ・深度1.5m未満でオートスイッチが水分を感知している場合



ダイブ表示で深度が0.0mになります。

この表示になってから、10分以内に1.5m以深を感知するとダイビングの継続とみなし潜水時間にそれまでの時間が加算されます。

- ・深度1.5m未満で、オートスイッチが水分を感知しない場合



27

ナイトロクス潜水 (NITROX) についての注意

- ・通常ダイビングに使用する空気は酸素濃度21%ですが、酸素濃度の上げた混合ガスを用いることで、体内に溶け込む窒素を軽減させることができます。
- ・使用するタンクの酸素濃度を正しく知り、FO₂表示で設定してください。通常の空気タンクを使用する場合は、「Air」を選択します。
- ・ナイトロクス潜水のためFO₂の設定をした場合、ダイビング前には必ず再確認をしてください。また、設定した翌日にはFO₂の設定値が「 - - 」となり、「Nx」マークが点滅します。FO₂の再設定をしてください。
(「FO₂の設定について」を参照)

ダイブログの呼び出し

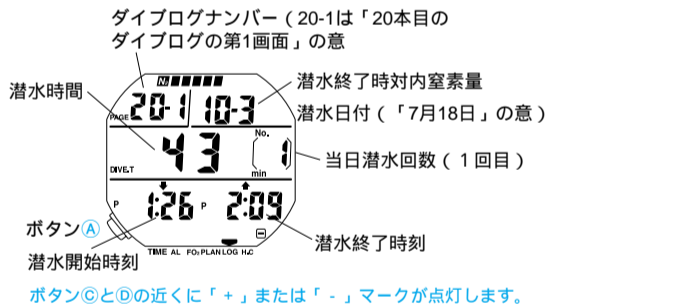
- ・自動的に記録されたダイブログを呼び出してみることができます。
- ・ログブック等に記録を残す必要があるほとんどの項目が自動記録されています。
- ・ダイブログナンバー、日付、潜水開始時刻、終了時刻、潜水時間、当日潜水回数、酸素濃度、平均深度、最大深度、最大深度時温度を、2画面に分けて表示します。
- ・最大30本のダイブログが記録されます。それ以上ダイビングを行なうと、古いダイブログが1つずつ消去され、新しいダイブログが記録されます。

28

ダイブログの呼び出しとその表示内容

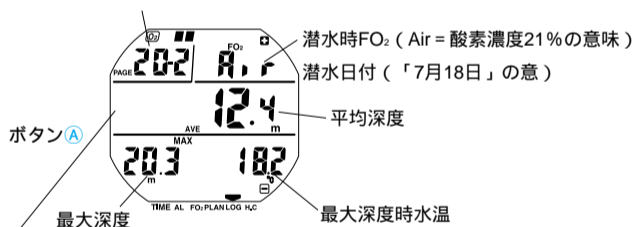
- ボタン①を押して、ダイブログ表示にしてください。
- 最新ダイブログの「第1画面」が表示されます。

このダイブログの「第2画面」を見る場合は、続いてボタン②を押してください。



29

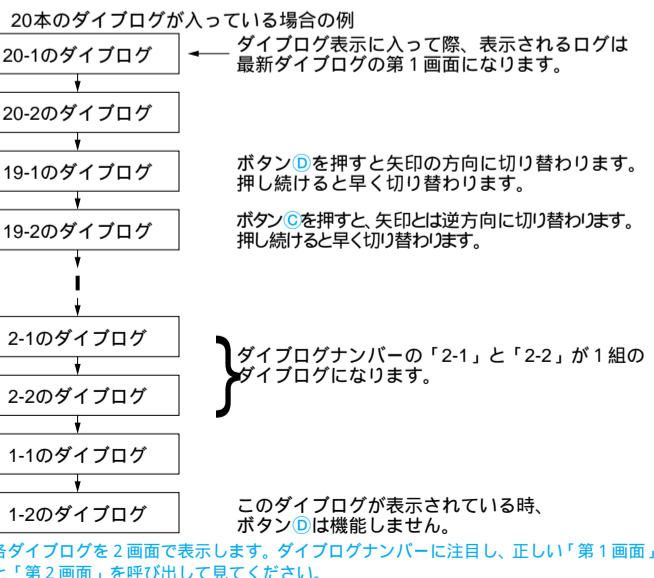
ダイブログナンバー (20-2は「20本目のダイブログの第2画面」の意)



* 「Nx」マーク: 酸素濃度を22~50%を設定した場合、この位置に「Nx」ナイトロクスマーク点灯します。

- ボタン③または④を押して、ダイブログを呼び出してください。
- ボタン③および④を押して切り替わる順序は、

30



31

ダイブログで表示される警告内容

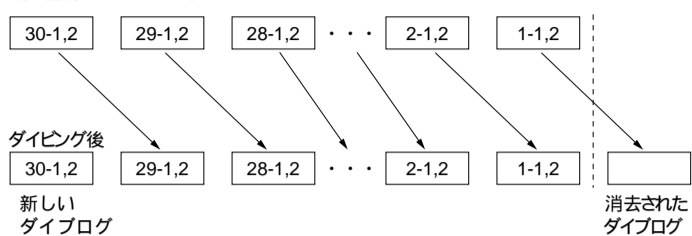
表示 (表示の様子)	警告名	説明
SLOW (点滅)	浮上速度警告	浮上速度が速すぎた場合、2回連続して発生した場合に、ダイブログに記録されます。
DECO (点灯)	減圧潜水警告	無減圧潜水時間を超え、減圧潜水を行なった場合
DECO (点滅)	減圧停止指示違反警告	減圧潜水を行ない、減圧停止指示に従わなかった場合
PO₂ (点滅)	PO ₂ 警告 (酸素分圧警告)	PO ₂ 酸素分圧が1.5以上に達した場合
O₂ (点滅)	OLI警告 (体内酸素量警告)	体内酸素バーグラフが全部点灯した場合
「 - - 」 (全表示点滅)	計測範囲外警告	「 - - 」マークになった部分の計測が計測範囲外となった場合。 (例) 最大深度が99.9mを超えた場合

32

ダイブログがいっぱいになると

- ・30本のダイブログが記録されている状態でダイビングを行なうと、古いダイブログが1つ消去され、新しいダイブログが記録されます。
- ・ただし、その際ダイブログナンバーが1番ずれます。

既に記録されている30本のダイブログ

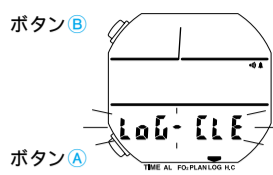


上記のように、新しく記録されたダイブログが30番となり、それまで30番だったダイブログは29番になります。またそれまで1番のダイブログは、消去されます。

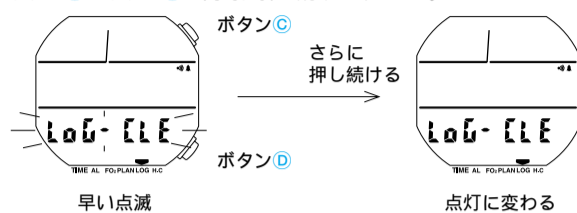
30本までダイブログを残しておく必要がない場合、積極的にダイブログを消去することができます。(「ダイブログの消去のしかた」を参照)

ダイブログの消去のしかた

- ・記録しているダイブログを一括で消去できます。
- ボタン(A)を押して、ダイブログ表示にしてください。
- ボタン(B)を押すと、ダイブログ消去実行状態になります。



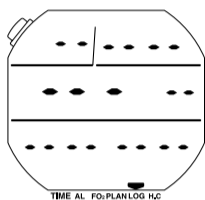
ボタン(C)とボタン(D)を同時に押し続けてください。



文字が点灯になると、すべてのダイブログを消去したことが分かります。

ボタン(B)を押して、ダイブログ表示に戻してください。

ボタン(B)



すべてのダイブログが消えた時はこの表示になります。

ダイブログに記録されないダイビングについて

- ・ダイブ表示に切り替わり1.5m以上の深度を計測しても、潜水時間が3分に満たない場合は、ダイブログには残りません。

アワーコレクション (H.C.: 時差修正) について

- ・時差のある地域へ移動した場合、現地時間(含む日付)に簡単に合わせる事ができます。
- ・30分単位で±24時間の修正が可能で、日付も連動します。
- ・ダイビング前にアワーコレクションをして、ダイブログに書き込まれる日付と時刻を現地時間にするをお勧めします。

アワーコレクション(時差修正)のしかた

- ボタン(A)を押して、アワーコレクション表示にしてください。
- ボタン(B)を押して、時差修正状態にしてください。

ボタン(B)



現在時刻

ボタン(A)

ダイビング後10分間はアワーコレクションはできません。この状態で1~2分間操作がないと「時刻・カレンダー表示」に戻ります。

ボタン(C)または(D)を押して現地の時刻および日付を合わせてください。



- ボタン(C): 1回押すごとに時刻が30分進みます。押し続けると早く進みます。
- ボタン(D): 1回押すごとに時刻が30分戻ります。押し続けると早く戻ります。
- ボタン(C)と(D)の近くに「+」または「-」マークが点灯します。

*午前午後と日付にも注意して合わせてください。

合わせ終わったらボタン(B)を押してアワーコレクション表示に戻してください。

本製品で使用する用語について

用語の定義と基本的な考えかた

用語	定義および基本的な考えかた
深度	1.5mから計測表示し、0.1m単位最大99.9mまでが計測範囲です。海水(比重=1.03)を基準に深度表示します。 例)淡水(比重=1.00と仮定)での深度表示19.4mの場合 実際の深度=19.4m×1.03/1.00=20.0m 淡水でダイビングした場合でも無減圧潜水時間や体内窒素量は圧力値で計算するので問題ありません。
潜水時間 DIVE.T	深度1.5m以上になった時点から、深度1.5m未満になるまでの時間を1分単位で計測表示します。最大599分まで計測します。
水面休止時間 SURF.T	浮上し深度1.5m未満になった時点からの経過時間を計測します。1分単位で計測表示します。最大48時間まで計測します。水面休止時間が10分未満で再潜水(1.5m以上)を開始すると、前回潜水の継続とみなし、水面休止時間が潜水時間に加算されます。
水温	0.1 単位で計測表示します。計測範囲は - 5.0 ~ + 40.0 です。ダイブログに記録される水温は、最大深度時に計測された水温です。
アルゴリズム	スイス型モデルの理論と研究に基づいてMr. Randy Bohrerによって改良された演算方法を使用しています。
減圧潜水	無減圧潜水(=ある深度に停止することなく水面まで浮上可能な潜水)での使用を前提にしていますが、万一、無減圧潜水時間を超過して潜水を行なった場合には、減圧潜水の情報を提供します。 減圧潜水とは、許容以上の体内窒素量が蓄積され、指示された深度に一定時間停止する必要がある潜水のことです。

用語説明

用語	説明
高度ランク ▲	圧力センサーが気圧を定期的に計測し、高度ランク0~3の4段階を山マークの数で表示します。約6000mまでが計測範囲です。高度ランクエラーの場合、高度ランク▲マークが点滅します。
体内窒素バーグラフ N ₂	身体への窒素の溶解量を10段階(0~9個)のバーグラフで表示します。点灯している数が多いほど体内窒素が多いことを表しています。9個すべてが点灯すると、減圧潜水になります。
体内窒素排出時間 DESAT	ダイビング中に体内に溶け込んだ窒素が、ダイビング後に排出されて、平衡状態になるまでの時間です。時:分で表示し、0:00まで減算されると、体内窒素が排出されたこととなります。
FO ₂ (酸素濃度)	ダイビングに使用するタンクの酸素濃度の設定値です。「Air」=21%が通常の酸素濃度を示します。22%~50%の範囲で設定ができます。「Air」以外を選択すると、ナイトロクス潜水となり、「Nx」マークが点灯します。ダイブログにも設定してあったFO ₂ が記録されます。
「Nx」マーク	「Nx」マークが点灯したまま、翌日になると、「Nx」マークが点滅に切り替わり、FO ₂ は「-」表示となり、FO ₂ の再設定を促します。

深度ランク	これから行なうダイビングの深度を9m~48m範囲で、3m毎にランク分けされています。全14ランクあります。
無減圧潜水時間 NDL	現在の深度、または選択されている深度ランクで無減圧潜水が可能な時間です。最大200分ダイブプラン表示では酸素分圧が1.6以上になる深度では潜水時間が「-」表示となります。
ダイブログナンバー PAGE	表示しているダイブログが何本目を示します。最大30本。1つのダイブログは2画面で表示しますので、「30-1」と「30-2」とナンバーが付きまます。
当日潜水回数 No.	1日に行なったダイビングの回数です。ダイブログにその記録が残ります。
潜水開始時刻	潜水を開始した時刻です。1.5m以上になった時刻を時分で記録します。
潜水終了時刻	潜水を終えた時刻です。1.5m未満になった時刻を時分で記録します。
平均深度 AVE	ダイビング中の深度データから平均深度を計算します。計算結果はダイブログで表示されます。
最大深度 MAX	ダイビング中の一番深い深度です。
現在水温	ダイビング中の1分毎の水温を計測表示します。0.1 単位で、- 5.0 ~ + 40.0 の範囲を計測します。範囲外では「Lo」または「Hi」と表示します。
最大深度水温	最大深度を計測した際の水温がダイブログに記録されます。

潜水終了時体内窒素量	ダイビング終了時の体内窒素量がダイブログにバーグラフで記録されます。
潜水終了時体内酸素量	ダイビング終了時の体内酸素量がダイブログにバーグラフで記録されます。
減圧停止深度	減圧停止すべき深度。15、12、9、6、3mがあり、潜水状態に応じて計算され、深度が表示されます。 この深度より浮上すると、減圧停止指示違反警告になります。
減圧停止時間	減圧停止深度に停止する時間です。潜水状態に応じて計算され、減圧を行なうことにより減算します。
総浮上時間	現在の深度から水面までの減圧停止も含めた最短の浮上時間です。
PO ₂ (酸素分圧)	深度と設定されているFO ₂ (酸素濃度)から求められるPO ₂ を表示します。 1.5以上になると警告がでます。
体内酸素バーグラフ	身体が高い濃度の酸素にさらされている度合いを9段階で表示します。点灯しているバーグラフが多いほど、身体が酸素にさらされていることを示します。 ナイトロクス(Nx)潜水の場合、酸素分圧の高い混合ガスを使用するため、高い酸素濃度に身体がさらされます。 バーグラフが全点灯になると、酸素中毒になる危険がありますのでより浅い深度に浮上してください。